

2025年11月14日（金）

老球の細道 894号

今シーズン初のBリーグ観戦雑感

会津バスケットボール協会 室井 富 仁

上杉翔氏（現 B1 京都ハンナリーズ・アシスタントコーチ）が福島ファイヤーボンズを去ってからボンズの試合には関心が向かなかった。ところが、コーチングスタッフ、選手ほとんど（1人残留）総入れ替えした今シーズンは、現在東地区1位（12勝1敗）で独走状態である。しかも11連勝でチーム新記録。今までにない好成績で前半を進撃中である。

そんな中、第7節11月8日（土）9日（日）福島対福井のゲームディレクターの仕事があった。今シーズンのホームゲームはリニューアルされた「宝来屋ボンズアリーナ」で開催されている。再来シーズンに「Bリーグプレミア」入りを目指すために5,000人収容できる規模に改装されていた。階段席が1階から2回まで続き、2回上部には「BIP ルーム」が新たに設けられた。このようなアリーナが福島県にできるとはすごいことである。願わくば、わが会津においてもこのような「アリーナ」ができてほしいものである。

アリーナに着くと前座試合で郡山と福島のミニバスチームのゲームが行われていた。コーチが知人であったのでしばらく観戦していたが、ゴールが通常の高さにもかかわらず、普通にシュートをして、3Pシュートまで決めていた。今後ミニバスのゲームも大人と同じルールで行われる話も聞いているので、アジャストできるよう今から準備しているのだろうか。一番の問題はゴールの高さである。4年生以下の子ども達にとっては無理があるので、ミニの場合は2つのカテゴリーに分け、4年生以下を「ミニバスケットボール（今までのルール）」、6年生以下を「U-12（通常ルール）」としてはどうかと考えながら観ていた。

さて、今シーズンボンズ絶好調の要因は何かを唯我独尊であげてみたい。

*全員がシューターであり、ここぞという時に決められる。相手に逆転されたり、離されそうになっても、大事な場面で全員が決め切ることができる。相手チームにとっては守りが絞りにくい。アウトサイドシュートの確率が高いのは絶対的な強みである。

*外国人ビッグマン2人のリバウンド、アウトサイドシュート、他のスキルが非常に高い。特にリバウンドが強いから、アウトサイドから安定してシュートが打てる。

*ディフェンスが激しく強い。ボールマンに対して常にプレッシャーをかけ、ファールすれすれでついている。多くのミニ、中学、高校生に是非見てほしいディフェンスである。

激しいディフェンスの下での攻防を裁くのは3人のレフリーである。毅然とした態度で明確に判定を下すレフリーにはいつも感心する。福井のチームスカウティングするため「バスケットライブ」で第6節「福井対熊本」のゲームを見た。なんと、わが会津の芳賀聡氏（S級、前福島県協会審判長）がレフリーをやっているではないか。ふだんの仕事の忙しさに関係なく福井まで来て笛を吹いている、凄いことである。

最後に、Bリーグは今シーズ10周年を迎える。ボンズのゲームは当初観客数600人位しか入らない時があった。しかし今シーズン平均4,000人を超える。がんばれボンズ！